



## 将来都市像Ⅱ

# 誰もがあこがれる充実の 「子育て・教育都市」

### 都市づくりの基本方向

#### 4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

政策11 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり(子育て)

政策12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援(健全育成、自立)

政策13 女性や若者が活躍できる社会づくり(女性・若者)

#### 5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

政策14 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成(学校教育)

政策15 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上(教育環境)

政策16 生涯にわたる豊かな学びの充実(生涯学習)

#### 6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

政策17 多様な主体による協働のまちづくり(協働、ESD)

政策18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり(国際)

政策19 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり(人権)



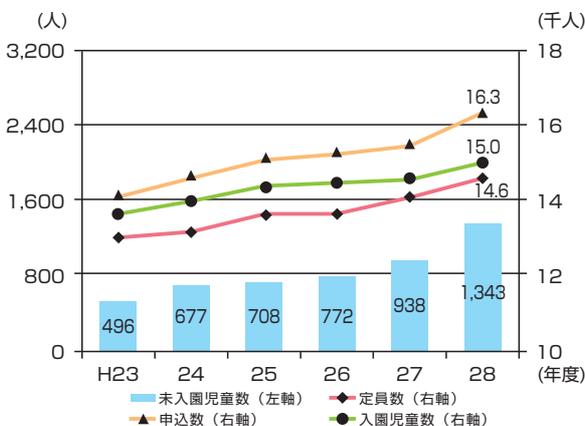
政策 11  
子育て

安心して子どもを生き育てることが  
できる環境づくり

現状と課題

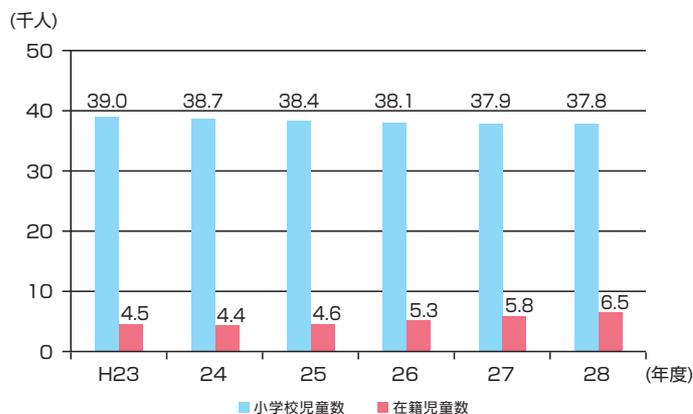
- ライフスタイルの変化や価値観の多様化等を背景に、男女ともに生涯未婚率<sup>1</sup>や平均初婚年齢が上昇しており、岡山市の合計特殊出生率<sup>2</sup>は、平成 21 年を底に改善傾向にあるものの、依然として低水準で推移しています。一方、国の調査によると、若い世代では子どもを 2 人以上持ちたいと希望している人が多いという結果も出ており、希望する誰もが安心して子どもを生き育てることができる環境づくりを進め、出生率の向上につなげていく必要があります。
- 岡山市では、保育所等の新設・増築等により保育の定員を増やしていますが、共働き世帯の増加や女性の社会進出等による保育ニーズの高まりにより入園希望者が増加し、平成 28 年 4 月時点で未入園児童<sup>3</sup>が 1,343 人、そのうち待機児童<sup>4</sup>が 729 人となっています。また、放課後児童クラブは、入所希望児童の増加に加え、受入れ対象学年の拡大により需要が増加しています。このため、需要の変化に応じた保育サービスを提供することにより、仕事と子育てが両立できる環境づくりを進めていく必要があります。
- 企業での育児・介護休業制度の導入は進んでいますが、男性の取得率は依然として低く、男性の育児・家事への参加は十分ではありません。このため、子育て世代や企業への啓発等により、男性の育児・家事への参加促進や、男女ともに仕事と家庭生活を両立しやすい環境づくりを進めていく必要があります。
- 核家族化や少子化が進む中、出産・育児に不安を抱えたまま出産し、支援者が少ない中で孤立した状態で子育てをする保護者が増えています。安心して出産・子育てができ、子どもが健やかに育つよう、健診・相談等、妊娠期から乳幼児期まで切れ目のない支援を行うとともに、母子の健康増進を図る必要があります。
- 子育てに対する不安感や負担感を和らげ、安心して子育てができる環境を整えるため、身近な地域での情報提供や相談体制の充実、経済的負担の軽減等、子育て家庭への総合的な支援を進めていく必要があります。

保育所等への入園状況の推移



年度	H23	24	25	26	27	28
定員増加数(人)	50	130	470	70	410	527

小学校児童数と  
放課後児童クラブの在籍児童数の推移



(資料)岡山市担当課調べ

(注)平成27年度～認定こども園の保育認定(2号・3号認定)を含む。

平成28年度～地域型保育事業の利用児童を含む。

(資料)岡山市担当課調べ

## 施策の方向性

## 施策1 仕事と子育ての両立のための基盤整備

- 保育サービスの充実、仕事と家庭生活の両立の推進、子育て家庭の経済的負担の軽減、母子保健の推進等、希望する誰もが結婚し安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進め、出生率の向上を図ります。
- 待機児童・未入園児童の解消に向け、私立保育所の新設のほか、小規模保育事業者や事業所内保育事業者の公募等により、保育の受け皿を確保します。また、保護者の多様な就業形態等に対応できるよう、延長保育や病児保育等のサービスを充実します。
- 質の高い幼児教育と保育を総合的に提供するため、地元との協議を行いながら、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めるとともに、施設の統合や民営化等の取組を進めます。
- 就学前教育・保育を担う人材を確保するため、処遇改善や現場を離れている潜在保育士の再就職支援等に取り組めます。
- 小学生の放課後等の居場所を確保し、利用希望者全員に適切な育成支援を提供できるよう、放課後児童クラブの安定的な運営や受入れ施設の整備を進めます。

施策2 子育てにおけるワーク・ライフ・バランス<sup>5</sup>の推進

- 男性の育児・家事への参加意識の高揚を図るとともに、子育ての具体的な知識等の習得を支援することにより、女性の育児・家事の負担の軽減を図ります。
- 企業における長時間労働を前提とした男性中心型労働慣行を改め、男女がともに仕事と家庭生活を両立できるよう、経済団体やNPO<sup>6</sup>など多様な主体と連携して啓発に取り組めます。また、行政や企業における両立支援の取組、事務の効率化や生産性向上に向けた働き方改革等の先進的な取組を紹介します。

## 施策3 母子の健康づくりへの支援

- 安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問など、妊産婦、乳幼児に関する保健事業を引き続き進めるとともに、妊産婦向けの相談支援窓口を設置し相談支援体制を充実します。

## 施策4 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

- 家庭や子どもに関する様々な相談に身近な場所で応じることができるよう、地域子育て支援センター<sup>7</sup>における育児不安等への相談・指導や育児講座等の実施、児童館等における子育て中の親子が気軽に集い相互交流できる場の提供等を行います。
- 子育て応援サイト等を通じて、いつでもどこでも必要な子育て情報を得られる環境を整備します。また、保護者が自主的に実施する子育てに関する学習会・交流会への支援を充実します。
- 一時預かりやファミリー・サポート・センター<sup>8</sup>等の保護者を一時的に子育てから解放する多様なサービスの提供や、子育て世帯への経済的支援を行うなど、子育ての負担感の軽減を図ります。

## 用語解説

- 生涯未婚率：50歳時の未婚率であり、45～49歳と50～54歳の未婚率の単純平均として求められる。
- 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生のうちに産むとしたときの子どもの数に相当する。
- 未入園児童：保育所等の保育利用資格があり、利用申込しているにもかかわらず、保育利用が決まっていない就学前児童。
- 待機児童：未入園児童のうち、保護者が求職活動中、通園可能な地域に利用できる園がない等、厚生労働省が待機児童として定義する入所待ちの児童。
- ワーク・ライフ・バランス：P11の脚注参照。
- NPO：P5の脚注参照。
- 地域子育て支援センター：乳幼児及びその保護者同士の交流や、子育ての相談、情報提供等の援助を行う事業（地域子育て支援拠点事業）を実施する施設。保育所等に設置される。
- ファミリー・サポート・センター：地域において子ども預かりの援助を行いたい者と援助を受けたい者が会員となり、育児について会員間で助け合う組織のこと。センターにはアドバイザーを配置し、援助活動に関する連絡、調整を実施する。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度	16.7%	30% (H31)
保育所等の待機児童数	729人 (H28.4.1)	0人 (H33.4.1)
放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合	87.7% (H28.4.1)	100% (H33.4.1)
男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合	82.4%	85% (H31)

## 施策1 仕事と子育ての両立のための基盤整備

### ■ 私立保育所の施設整備 岡山っ子育て成局

- ・私立保育所の新設・増築を実施する事業者に対する施設整備の補助金交付

### ■ 私立保育所の施設整備（老朽改修） 岡山っ子育て成局

- ・老朽保育所施設の建て替え、大規模改修等に対する補助金交付

### ■ 地域型保育事業の整備 岡山っ子育て成局

- ・地域型保育事業者（小規模保育事業者、事業所内保育事業者）の公募等の実施
- ・賃借物件で小規模保育事業所を開設する事業者に対する賃借料の補助金交付

### ■ 延長保育・病児保育事業 岡山っ子育て成局

- ・認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所における、保護者の勤労形態の多様化等に伴う需要に対応した開所時間の延長
- ・就労者等の子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の医療機関等における一時保育

### ■ 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進 岡山っ子育て成局

- ・教育・保育提供区域ごとに施設を定めた市立幼稚園、市立保育所の幼保一体化による、施設の適正化、民営化等

### ■ 保育士確保支援事業 岡山っ子育て成局

- ・保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」への、保育士・保育所支援センターにおける就職相談やハローワークと連携した就職面接会等による就職促進を通じた保育人材の確保

### ■ 保育士等処遇改善事業 岡山っ子育て成局

- ・私立保育所等に勤務する保育士等に対する国の処遇改善事業（人件費の上乗せや賃金改善など）に加えた市独自の上乗せ補助の実施による保育人材の確保

### ■ 放課後児童健全育成事業 岡山っ子育て成局

- ・放課後児童クラブ施設の計画的な整備、運営体制の充実

## 施策2 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進

### ■子育てパパ・プレパパ応援事業 岡山っ子育て成局

- ・パパ（概ね3歳までの子どもを持つ男性）・プレパパ（これから子育てをする予定の男性）を対象とした育児・家事参加に関する意識啓発
- ・赤ちゃんのむく浴指導や疑似妊婦体験、料理教室、子どもとのふれあい講座など、育児に関する具体的な技術の習得ができる研修の実施

### ■みんなで子育て推進事業 岡山っ子育て成局

- ・子育て家庭を対象にしたワーク・ライフ・バランスの周知・啓発
- ・企業等を対象にしたワーク・ライフ・バランスの必要性について理解を深めるための研修会の開催

### ■女性が輝くまちづくり推進事業 (ワーク・ライフ・バランスの推進) [一部再掲] 市民協働局

- ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発

## 施策3 母子の健康づくりへの支援

### ■妊産婦相談支援事業 保健福祉局

- ・妊娠から産後に特化した助産師等専門職による相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」の新設による妊産婦の相談支援体制の充実

### ■乳児家庭全戸訪問事業 保健福祉局

- ・生後4か月までの乳児のいる全家庭への愛育委員<sup>9</sup>（訪問ボランティア）の訪問による、子育てに関する情報提供や不安・悩み相談、支援が必要な家庭を適切な支援につなげるための取組の実施

## 施策4 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

### ■子育て応援サイトの運営 岡山っ子育て成局

- ・妊娠から出産、育児に関する子育て支援情報の官民共同型のポータルサイトへの集約、一元化及び対象者へのタイムリーな発信による、いつでもどこでも必要な情報を得られる環境の整備

### ■一時預かり事業 岡山っ子育て成局

- ・家庭において保育を受けることが困難となった乳幼児の保育所・認定こども園での一時預かりの実施

### ■ファミリーサポート事業 岡山っ子育て成局

- ・ファミリー・サポート・センターでの、地域において育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を行いたい者（提供会員）との仲介による会員間での育児の相互援助活動の支援

### ■シルバー世代産前産後応援事業 岡山っ子育て成局

- ・シルバー人材センターの登録者による、事前登録した産前1か月から産後5か月の妊産婦を対象にした育児・家事支援の実施

### ■子ども医療費助成制度 保健福祉局

- ・子どもに係る医療費の一部助成並びに小児救急医療の適正な受診についての啓発



政策 12

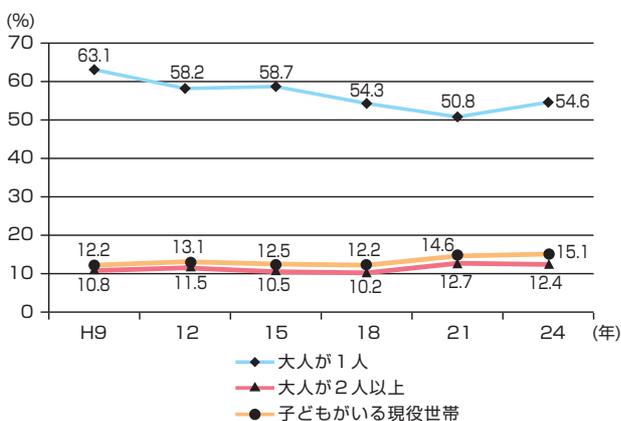
健全育成・自立

# 子どもの健やかな成長と 若者の自立の支援

現状と課題

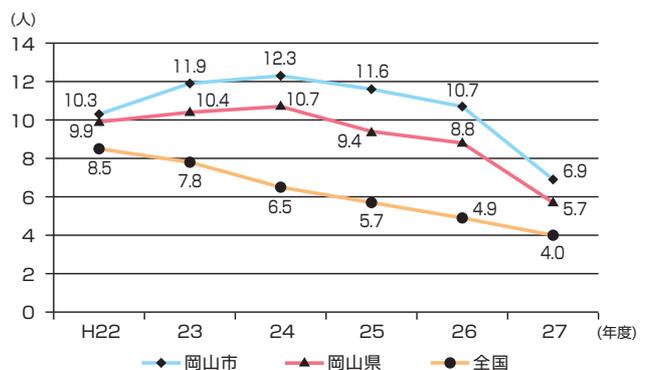
- 少子化や核家族化の進行、地域コミュニティにおける人間関係の希薄化等により、子育て家庭の孤立化が進み、岡山市においても虐待を受ける子どもや社会性の発達に課題を抱える子どもなど、支援を必要とする子どもが増加しています。また、交通事故や凶悪犯罪、インターネットの普及に伴う有害情報の氾濫など、子どもを取り巻く環境には様々な課題が生じています。このような中、子どもが心身ともに健やかに成長し、豊かな人間性や社会性を身に付けられるよう、家庭、地域、企業、NPO<sup>1</sup>等の多様な主体が連携して、地域社会全体で子どもや子育て家庭を支えていく必要があります。
- 虐待やいじめ、不登校、障害のある子ども、外国人の親子等、きめ細かなサポートを必要とする子どもやその家庭の問題を早期に発見するとともに、状況やニーズに応じた切れ目のない支援を行っていく必要があります。また、全国的に子どもの貧困が課題になっている中で、岡山市においても、相対的貧困率<sup>2</sup>が高い傾向にあるひとり親家庭の世帯数は増加傾向にあり、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策の充実が求められています。
- 岡山市では、若者による犯罪が減少してはいるものの、人口千人当たりの刑法犯少年の割合は、全国や岡山県と比べて高い状況にあります。また、パソコン・スマートフォンの利用に伴う有害情報との接触や、違法ドラッグの広がりなど、青少年を取り巻く環境の変化により、犯罪に巻き込まれる事案の増加が懸念されています。そのため、警察や学校をはじめとする関係機関と連携し、非行防止や被害に遭わないための取組を一層強化していく必要があります。
- ニート<sup>3</sup>やひきこもり等の状況にある若者を含め、より多くの若者が社会的に自立できるよう、社会参加の促進や就業等への支援を行っていく必要があります。

子どもがいる現役世帯の世帯員の  
相対的貧困率の推移(全国)



(資料)内閣府「国民生活基礎調査(H25)参考資料」

人口千人当たりの刑法犯少年の割合の推移



(資料)岡山県警察本部「岡山の少年非行」

## 施策の方向性

## 施策1 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

- 地域子育て支援センター<sup>4</sup>をはじめ、幼稚園、こども園、保育所、児童館、公民館等の地域の身近な場所において、子育て相談や学習、地域との交流ができる環境を整えます。
- 市民との協働により、子どもと子育て家庭を地域社会全体で支えていく気運の醸成を図るとともに、地域での見守りや安全・安心な居場所づくり、子どもの自主活動への支援等を推進し、子どもが安心して過ごし、遊び、健やかに成長できる環境づくりを進めます。

## 施策2 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

- 虐待やいじめを受けている子ども、不登校の子ども、障害のある子ども、外国人の親子等、きめ細かなサポートを必要とする子どもや家庭を早期に発見し、適切な支援ができるよう、こども総合相談所（児童相談所）及び地域こども相談センターを中心とした児童家庭相談体制や教育、医療、保健、福祉、警察、司法等の関係機関・団体との既存ネットワークの連携をより一層強化します。
- 発達障害者支援センターを核として、教育、医療、保健、福祉等の関係機関と連携し、発達障害の早期発見から就労支援まで、発達障害者の育ちと自立を切れ目なく支援する体制づくりを推進します。
- 社会的養護を必要とする子どもへの支援をより一層充実させるため、児童養護施設等を退所した児童のアフターケアや里親・ファミリーホーム<sup>5</sup>等による家庭的養護を推進します。
- 貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、困難を抱える子育て世帯への経済的支援や、教育、就労、生活面等における総合的な支援を充実させ、子どもの貧困対策やひとり親家庭の自立支援を進めます。

## 施策3 若者の健全な成長と自立の支援

- 青少年の非行防止と健全育成に向け、家庭、学校、地域、警察等の関係機関と連携し、青少年健全育成活動を推進します。
- 諸課題を抱える若者の社会的自立に向け、NPO等との協働により社会体験活動等を通じた社会参加を促進するとともに、就業支援等に取り組みます。

## 用語解説

- 1 NPO：P5の脚注参照。
- 2 相対的貧困率：一定基準（貧困線）を下回る可処分所得しか得ていない人の割合のこと。各世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って得た所得を低い順にならべた中央値の半分に満たない所得で生活している人の割合。
- 3 ニート：Not in Education, Employment or Trainingの略称で、15～34歳までで、仕事に就いておらず、家事も通学もしていない人のこと。
- 4 地域子育て支援センター：P73の脚注参照。
- 5 ファミリーホーム：保護者のない児童や保護者が養育することが不適当であると認められる児童5～6人を迎え入れ、基本的な生活習慣の確立や自立を支援することを目的として、養育者の家庭で養育を行うもの。

## 成果指標

指標名	基準値 H27	目標値 H32
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員	11団体	60団体
社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数	—	25人 (H28~32の合計)
里親等委託率	13.3%	23%
青少年の健全育成に対する満足度	11.1%	20% (H31)

## 主な事務事業

### 施策1 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

#### ■心豊かな岡山っ子応援団 岡山っ子育成局

- 子育てを社会全体で支えていく気運の醸成に向けた、家庭、地域、事業者、学校園、行政の代表 24 団体で構成する応援団による、官民協働での子育て支援の実施

#### ■プレーパーク普及事業 岡山っ子育成局

- 子どもの自発性を引き出し、豊かな外遊び体験につながるノウハウを持った者（プレーリーダー）を中心とした地域住民との協働による、地域の公園等での、子どもたちが自然の素材を使った遊びや季節を感じる遊びなどの豊かな外遊びを体験できるイベント（プレーパーク）の開催

#### ■次世代育成体験活動促進事業 岡山っ子育成局

- 被災した際に、自らの生命を守る防災技術や知識について、具体的な疑似体験を通じて学ぶことができる機会の提供（防災キャンプ推進事業）
- 外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供（おかやまイングリッシュビレッジ事業）

## 施策2 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

### 子ども相談主事の配置 岡山っ子育成局 教育委員会

- 各福祉事務所及び小中学校への子ども相談主事の配置による、問題行動や不登校、虐待等に関する保護者や教職員からの相談への対応（学校園や家庭に向向いての対応）
- 学校園と福祉等の関係機関との橋渡しによる問題解決の推進

### 発達障害者支援センター事業 岡山っ子育成局

- 子育てに不安のある家庭への相談対応及び関係機関と連携した就労支援等による発達障害者の自立及び社会参加の促進
- 発達障害者が安心して暮らすための支援人材の育成や地域支援体制の構築

### 入所施設児童等福祉対策 岡山っ子育成局

- 入所施設児童、里親等への委託児童及び自立援助ホーム<sup>6</sup>入所者の福祉の向上を目的とした、施設の設定者又は運営者及び里親に対する補助金の交付

### 退所児童等アフターケア事業 岡山っ子育成局

- 児童養護施設等を退所した子どもたちの地域社会における社会的自立の促進を目的とした、生活や就業に関する相談、居場所の提供、住居支援等の実施

### 里親委託等家庭養護の推進 岡山っ子育成局

- 里親制度についての社会の制度理解の促進や一般家庭からの里親の開拓
- 保護を要する子どもの家庭的環境の中での安全・安心な生活に向けた、里親・ファミリーホームへの支援

### ひとり親家庭支援事業 岡山っ子育成局

- 母子・父子家庭等の生活の安定に向けた生活相談や就労支援等の実施
- 子どもの基礎学力の向上、高等学校進学等を促進するための、児童扶養手当全額支給世帯の中学生に対する学習支援

## 施策3 若者の健全な成長と自立の支援

### 青少年健全育成事業 岡山っ子育成局

- 岡山市青少年育成協議会、警察、学校、その他関係機関及び団体等との連携による、補導活動、相談活動、健全育成活動等の実施

### 子ども若者育成支援事業 岡山っ子育成局

- 「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者支援地域協議会（仮称）」の設置
- 39歳までのニート、ひきこもり、不登校などの諸課題を抱える子ども・若者の円滑な社会生活を支援するための、複数の実施機関の連携による支援体制の整備

### 用語解説

6 自立援助ホーム：義務教育を修了し、児童養護施設等を退所した20歳未満の児童等が、日常生活上の援助や生活指導、就業支援等を受けながら共同生活を営む住居。



政策 13  
女性・若者

# 女性や若者が活躍できる社会づくり

現状と課題

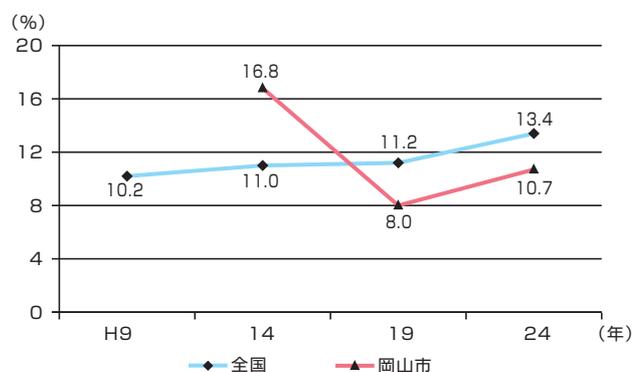
- 少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少が見込まれる中、「我が国最大の潜在力」と言われる女性の力が最大限に発揮できる社会づくりが求められており、平成 27 年に制定された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」では、女性の職業生活における活躍促進に向けて、国、自治体、事業主それぞれが計画的に取り組むことが義務付けられました。
- 女性の労働力率<sup>1</sup>は、結婚・出産期に低下し、子育てが一段落すると上昇する、いわゆる「M字カーブ」を描いており、結婚・出産を機に離職する女性は依然として多く、多様で柔軟な働き方の導入等により、女性も男性も働きやすい職場環境づくりを進めていく必要があります。
- 岡山市では、管理的職業従事者に占める女性の割合が約 1 割と低いため、企業に対して、働き方改革や職場の意識改革など、女性活躍促進に向けた取組を積極的に進めるよう働きかけていく必要があります。
- 女性がライフステージのあらゆる場面で個性や能力を発揮していくためには、固定的な性別役割分担意識を解消するなど、社会全体の意識改革が必要です。また、地域においても、町内会長や PTA 会長等への女性の就任割合を高めるなど、意思決定の場への女性の参画を促進する必要があります。併せて、DV（ドメスティック・バイオレンス<sup>2</sup>）等の人権侵害の根絶に向けた啓発等を進めていく必要があります。
- 学生をはじめ若者の存在は地域に活力をもたらしています。地域づくりの次代を担う人材が地域に定着し、活躍できる環境づくりを進めていく必要があります。

女性の労働力率の推移(M字カーブ)



(資料)総務省「国勢調査」

管理的職業従事者に占める女性の割合の推移



(注)平成9年以前は人口30万人以上の市別データなし  
(資料)総務省「就業構造基本調査」

## 施策の方向性

## 施策 1 男女共同参画の推進

- 職業生活における女性の活躍を促進するため、多様で柔軟な働き方への取組を企業に働きかけるとともに、結婚や育児等の理由で離職した女性が希望する形で就労できるよう支援します。
- 家庭、地域、職場など、社会のあらゆる場での男女共同参画を進めるため、各種講演会や研修等を実施し、固定的な性別役割分担意識の解消を図るとともに、様々な意思決定の場への女性の参画を促進します。
- DV やセクハラ（セクシュアルハラスメント<sup>3</sup>）等に関する効果的な啓発を進めるとともに、関係機関との連携により相談体制を充実します。

## 施策 2 若者の力をいかした地域づくり

- 若者が、地域づくりに取り組むコミュニティやNPO<sup>4</sup>、企業、公民館等の活動に参画することを促進し、地域づくりの次代を担う人材を育成します。また、若者の市内企業への就職を支援し、岡山への定着を図ります。

## 用語解説

- 1 労働力率：15歳以上人口に占める「労働力人口」の割合。「労働力人口」とは、就業者と完全失業者（仕事がなく、仕事を探していた者で、仕事があればすぐに仕事に就ける者）の合計。
- 2 ドメスティック・バイオレンス（DV）：配偶者・パートナーや恋人関係にある人からの身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力などの行為。
- 3 セクシュアルハラスメント：相手の意に反して不快な状態に追い込む性的な言葉や行為。
- 4 NPO：P5の脚注参照。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合	10.7% (H24)	16% (H29)
固定的な性別役割分担意識の解消度	65.4%	73% (H31)
若者(20歳代)の地域活動への参加割合	17.9%	30% (H31)

## 施策1 男女共同参画の推進

### ■女性が輝くまちづくり推進事業 市民協働局

- 企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス<sup>5</sup>の重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、女性活躍促進に向けたワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発
- 離職した女性のスキルアップや再就職支援、女性社員のキャリア形成の支援

### ■男女共同参画推進事業（さんかくウイーク） 市民協働局

- 「男女共同参画推進週間（さんかくウイーク）」の期間を中心とした、市民協働による講演会や講座、コンサートなど多彩な催しの実施

### ■男女共同参画推進事業（さんかく岡山） 市民協働局

- 男女共同参画に関する啓発講座や気軽に参加できる多彩なイベント、子どもを対象とした体験型プログラム、男女共同参画を推進する人材の養成を目的とした講座等の開催

### ■男女共同参画相談支援センター運営事業 市民協働局

- 専門家や関係機関との連携による、DV、セクハラ、その他の性別に起因する差別等に関する相談業務や必要な支援の実施

## 施策2 若者の力をいかした地域づくり

### ■安全・安心ネットワーク<sup>6</sup>支援事業

(若者の地域活動への参加促進) [一部再掲] 市民協働局

- ・地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催

### ■岡山 ESD プロジェクト推進事業

(学生の ESD 活動への参加促進) [一部再掲] 市民協働局

- ・学生を対象とした ESD<sup>7</sup>に関するインターンシップ<sup>8</sup>等のプログラムの提供

### ■雇用対策等事業 [再掲] 産業観光局

- ・新規学卒者や UIJ ターン<sup>9</sup>希望者を対象とした合同企業説明会の開催、若年求職者への市内企業での就業体験機会の提供等
- ・市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援

### ■学校支援ボランティア事業 [再掲] 教育委員会

- ・学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援
- ・学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援

### ■大学生まちづくりチャレンジ事業 政策局

- ・大学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援

#### 用語解説

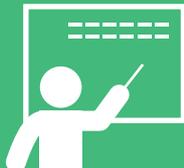
5 ワーク・ライフ・バランス：P11 の脚注参照。

6 安全・安心ネットワーク：市内の小中学校区・地区単位の各種地域団体やグループが幅広く連携し、防犯、防災、環境美化、地域福祉、健康づくりなどの地域活動を行う組織。

7 ESD：P7 の脚注参照。

8 インターンシップ：主に学生が、一定期間企業等での就業を経験するための制度。収入を得ることではなく、職業選択のための準備や実務能力の育成を主な目的とする。

9 UIJ ターン：P31 の脚注参照。



政策 14

学校教育

# 知・徳・体の調和のとれた 自立する子どもの育成

**現状と課題**

- 人口減少やグローバル化の進行等、社会変化の激しい時代の中で、子どもたちが将来、予測困難な課題に直面しても、自らの力で未来を切り拓いていけるよう、「知・徳・体」の調和をとりながら、「自立」に向かって成長する子どもを育成していくことが求められています。そのためには、学校を子どもたちにとって楽しく充実した学びの場にしていく必要があります。
- 全国学力・学習状況調査の結果をみると、特に中学校において思考力、判断力、表現力等を伸ばしていくことが課題となっています。このため、子どもが自分で考え、表現しながら、基礎的な学力を確実に身に付けることができ、「できた」、「わかった」という満足感の持てる授業づくりや、きめ細かな指導ができる体制の充実が求められています。
- 学校、家庭、地域が協働し、様々な人との関わりや体験活動等の機会を充実することにより、子どもが社会の一員であることを自覚し、規範意識や人権尊重の精神に根ざした思いやりの心、地域に対する愛着と誇りを育てていく必要があります。
- 近年、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が進み、また、朝食の欠食や不規則な食事など、食の問題による心身への影響が懸念されています。このため、家庭や地域と連携しながら、主体的に健やかな体を育むための運動習慣や望ましい食習慣の定着に向けた取組を進めていく必要があります。
- 特別支援学級に在籍する子どもや通常学級に在籍する障害のある子どもが増加傾向にあるため、個別の状況に応じたきめ細かな指導・支援や合理的配慮をこれまで以上に充実していく必要があります。また、小学校における不登校が増加傾向にあり、子どもたちの心の居場所づくりや絆づくりを進めるなど、課題が深刻化する前に十分な支援を行うことが求められています。

**全国学力・学習状況調査でのB問題（主として「活用」に関する問題）の結果**

平均正答率（平成27年度） (%)			偏差値の推移			
	平均正答率	全国との差	年度	H25	26	27
小・国語	64.8	▲0.6	小・国語	49	50	50
小・算数	46.1	1.1	小・算数	50	50	50
中・国語	62.1	▲3.7	中・国語	50	48	48
中・数学	37.7	▲3.9	中・数学	50	48	48

(資料)文部科学省「全国学力・学習状況調査」

## 施策の方向性

## 施策1 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

- 全国学力・学習状況調査や岡山市独自の学力調査（岡山市学力アセス）の分析結果を踏まえ、子どもが主体的・協働的に学ぶ授業づくりの研究に取り組むとともに、研究協力校における具体的な授業実践を通して、より効果的な指導方法を探ります。
- 中学校区単位で育てる子ども像を共有し、そのための教育計画を作成して指導に当たる「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」をさらに進めながら、一人ひとりの課題に対応したきめ細かな学習指導や支援を充実します。
- 授業や放課後学習の支援等を行うボランティアの一層の活用等により、子どもたちの豊かな学びを育みます。

## 施策2 人や自然との関わりを通じた豊かな心の育成

- 豊かな自然環境をいかした体験学習、地域の偉人や歴史・文化等についての調べ学習など、ふるさとに学ぶ教育を学校が家庭や地域と協働しながら行うことにより、子どもたちの地域への愛着と誇り、地域を大切にすることを育みます。
- 文化芸術に触れる機会を通じて、子どもたちの豊かな感性を育みます。また、道徳の授業や多様な経験を持つ人の話を聴く機会の提供等を通じて、思いやりの心、規範意識、向上心を育成します。
- 職業観を醸成し、社会人として必要なマナー等を身に付けるため、小学校では地域における職業調べ、中学校では職場体験を実施し、それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

## 施策3 健康教育の充実による健やかな体の育成

- 運動をするきっかけとなる取組の研究を進め、その成果を普及していくことにより、子どもたちの運動習慣の定着を図ります。
- 子どもたちの健康な心と体を育成するため、家庭、地域、専門家との連携を強化した保健管理・保健教育を充実させることにより、学校保健を推進します。
- 子どもや保護者に自らの生活を見直す機会を提供するとともに、食への興味・関心を喚起するなど、客観的な数値に基づいた食育を推進し、より良い食習慣・生活習慣の定着を図ります。

## 施策4 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実

- 支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育の視点をいかした授業づくりの研究や専門的な相談ができる体制づくりを進めます。
- 学級適応感等を測る調査の活用等により、落ち着いた学習環境など、望ましい学級集団づくりに取り組み、集団の中で良好な人間関係を築き、自分の力を発揮できる子どもを育成するとともに、問題行動等の未然防止につなげます。
- 子どもや保護者が抱えている課題の早期解決を図るため、臨床心理士等の「心の専門家」を学校や教育相談室に配置し、専門的な相談支援を実施します。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合	小:85.8% 中:83.5%	小:90% 中:88%
全国学力・学習状況調査のB問題 (主として「活用」に関する問題)の偏差値	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:48 中3数学:48	小6国語:51 小6算数:51 中3国語:50 中3数学:50
「人が困っている時に進んで助けている」と答えた 子どもの割合	小:85.5% 中:80.2%	小:92% 中:90%
1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合	中2男子:91.9% 中2女子:75.3%	中2男子:93% 中2女子:79%

## 施策1 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

### ■学力向上推進プロジェクト 教育委員会

- ・全国学力・学習状況調査の結果分析と授業づくりへの活用
- ・子どもの課題を踏まえた独自問題による岡山市学力アセスの実施と結果分析
- ・大学等との連携による「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」の推進及び授業改善等に向けた取組の実施等
- ・生徒が自主的に学習を進めるための「自主学習ソフト」の中学校への導入

### ■おかやまっ子チャレンジアッププロジェクト 教育委員会

- ・子どもが自校の現状と課題を主体的に考え、中学校区で目標を設定して取り組み、解決をめざす実践の促進
- ・市民の学校教育への関心度向上及び子どもの意欲向上に資するため、主体的に取り組む子どもの様子、他校の参考になる実践等の広報・周知の実施

### ■習熟度別サポート事業 教育委員会

- ・小学校2～6年生の授業における10人未満の小集団による習熟度別授業や放課後学習指導の実施

### ■岡山っ子スタート・サポート事業 教育委員会

- ・小1プロブレム<sup>1</sup>解消を目的とした一定規模以上の学校への教育支援員配置による円滑な義務教育のスタートの支援

### ■英語教育推進事業 教育委員会

- ・教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援
- ・英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進
- ・小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置
- ・英語力向上のための検定試験を活用したモデル事業の実施

### ■教育課題別研究事業 教育委員会

- ・研究協力校と連携した具体的な授業実践と指導方法の研究
- ・研究成果資料の作成と研修等での活用

### ■学校支援ボランティア事業 教育委員会

- ・学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援
- ・学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援

## 施策2 人や自然との関わりを通じた豊かな心の育成

### ■はぐくむ心・あったかハート事業 教育委員会

- ・道徳の教科化に向けた道徳教育担当者の研究協議会及び授業研究の実施
- ・子どもが地域等の様々な人の多様な生き方を学ぶ講演会の実施
- ・小学校6年生を対象とした演劇鑑賞会の実施等

### ■岡山キャリアスタートウィーク事業 教育委員会

- ・中学生を対象とした職場体験活動等の実施

### ■ユネスコスクール推進事業 教育委員会

- ・国内外のユネスコスクール<sup>2</sup>や各地域のコンソーシアム<sup>3</sup>との交流と学校間ネットワークの充実
- ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD<sup>4</sup>活動の推進
- ・ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催

## 施策3

## 健康教育の充実による健やかな体の育成

■運動習慣定着化事業 教育委員会

- ・運動するきっかけづくりとなる体育の宿題等の取組の普及促進

■子どもの命を守る岡山市立学校における AED 整備及び  
応急手当普及員研修事業 教育委員会

- ・小中学校への AED<sup>5</sup> の設置
- ・応急手当普及員講習への教頭等を中心とした参加の促進

■学校保健事業 教育委員会

- ・専門家と連携した薬物乱用防止教室等の実施

■スーパー食育スクール事業における成果の普及事業 教育委員会

- ・客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進

## 施策4

## 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実

■共に生きる子どもを育てる障害児支援事業 教育委員会

- ・特別支援教育支援員、看護支援員の配置
- ・実践研究校の指定による「特別支援教育の視点をいかした授業づくり実践研究」の実施
- ・「特別支援連携協議会」、「合理的配慮検討会議」の開催
- ・特別支援教育相談窓口による相談・支援の実施

■共に成長し合う学級集団づくり推進事業 教育委員会

- ・小中学校における学級適応感測定のための質問紙調査等の実施

■スクールカウンセラー配置事業 教育委員会

- ・小中高等学校へのスクールカウンセラーの配置による、子どもや保護者のカウンセリング、教職員への助言及びカウンセリングの技法の研修等の実施

■不登校児童生徒支援員配置事業 教育委員会

- ・小中学校への不登校児童生徒支援員配置による、不登校の未然防止と深刻化する前の早期解決への支援

■教育相談室・適応指導教室整備事業 教育委員会

- ・岡山市教育相談室・岡山市適応指導教室の整備

■日本語指導講師派遣事業 教育委員会

- ・日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施

## 用語解説

- 1 小1プロブレム：入学したばかりの1年生で、集団行動がとれない、授業中座ってられない、話を聞かないなどの状態が数か月継続すること。
- 2 ユネスコスクール：ユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として位置付けている。
- 3 コンソーシアム：様々な団体が共通の目的に向かって協働して活動する連合体。岡山市では、教育委員会が中心となり、大学、企業、ユネスコ協会等がユネスコスクールとともにESDに係る連合体として、学校間交流、ESD活動支援・普及・促進を行っている。
- 4 ESD：P7の脚注参照。
- 5 AED：自動体外式除細動器 (Automated External Defibrillator) の略称。胸部に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断し、心室細動 (心臓が細かく震えて全身に血液を送ることができない状態) を起こしている場合に、電気ショックを与えて心臓の状態を正常に戻す機能を持つ。



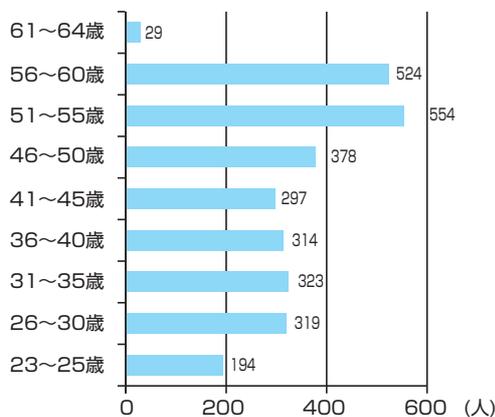
政策 15  
教育環境

# 家庭・学校・地域が協働で 進める教育力の向上

現状と課題

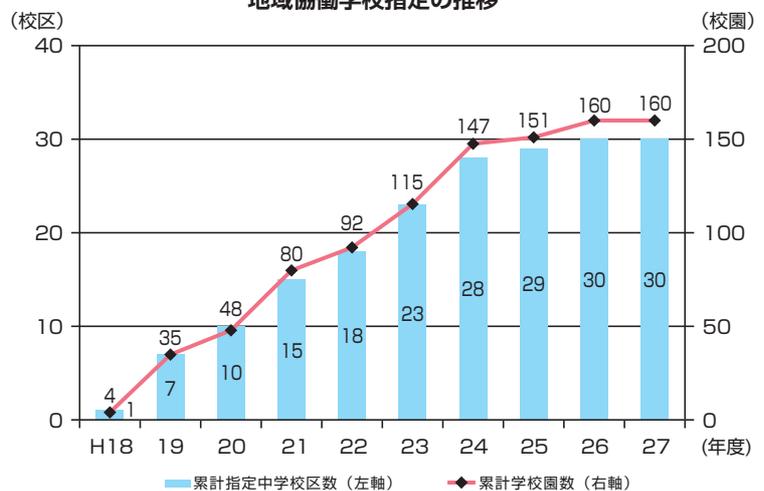
- 岡山市では、平成 28 年度から教員採用候補者選考試験を市単独で実施しており、市の教育課題に対応でき、教育の専門家としての力量と総合的な人間力を備えた情熱ある人材の確保に取り組んでいます。一方で、教員の年齢構成では、20 代の若手教員に比較して 50 代のベテラン教員が多いなど、年代層に偏りがみられます。
- 教職員が各キャリアステージに応じて身に付けておくべき力を明確にするとともに、その力量の向上に資する多様な研修を大学等と連携しながら実施するなど、教職員の育成を図るための環境を整備する必要があります。また、学校現場では、教材研究や授業研究等の専門性をいかした業務に専念する時間や、子ども一人ひとりと向き合う時間の確保が求められています。
- 校舎の耐震化やバリアフリー化など、安全・安心に配慮した教育環境を整備していく必要があります。また、児童生徒数の増減に対応した適正な規模の教育環境づくりや ICT<sup>1</sup> の活用をはじめとする様々な社会的要請に適切に対応するための教育環境の質的な向上が求められています。
- 保護者・児童生徒の学校選択の幅を広げ、特色ある学校づくりを推進するための「通学区域制度弾力化」は、制度施行後 10 年以上が経過しており、制度の検証が求められています。
- 複雑化・多様化している子どもや学校に関する諸課題に対応し、子どもを健やかに育ていくためには、家庭・学校・地域が一体となった、社会全体での教育が不可欠です。岡山市の保護者や地域住民の学校運営への参画を促す「岡山市地域協働学校（コミュニティ・スクール）」の指定状況は、平成 27 年度末現在で 38 中学校区中 30 中学校区（160 校園）であり、指定校園数は全国の市区町村の教育委員会の中で 2 番目に多くなっています。引き続き、「岡山市地域協働学校（コミュニティ・スクール）」の指定を推進するとともに、地域相互の情報交換による取組のさらなる充実を図る必要があります。

市立小中学校の教員の年齢構成(平成27年度)



(資料)岡山市担当課調べ

地域協働学校指定の推移



(資料)岡山市担当課調べ

## 施策の方向性

## 施策1 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

- 教職員の経験年数や職種に応じ、また、今日的な教育課題に対応した多様な研修を通じて、教職員の力量の継続的な向上を図り、優れた資質能力を備えた教職員を育成します。特に、若手の教職員の育成に重点を置き、先輩教職員の技術や教育に対する思いを伝える仕組みづくりを進めます。
- 学力向上のための調査・研究の成果をまとめた指導資料や模範となる授業の映像資料等を作成し学校に配付するとともに、指導主事が学校を訪問して助言を行うことにより、各学校及び中学校区での授業研究を充実します。
- 教員が本来の専門性をいかし、日々の授業の教材研究等に専念する時間や子ども一人ひとりと向き合う時間の確保に向けて、学校事務の効率化や支援員の配置等を進めます。

## 施策2 安全・安心で快適な教育環境の整備

- 安心して学べる教育環境の整備に向けて、校舎の耐震改修を進めるとともに、快適な教育環境を確保するための増改築等を行います。
- 児童生徒の増加・減少に対応するための教育環境づくりを適切に進めます。
- 複式学級のある学校を中心に、ICT 機器の導入を図るなど、特色のある教育に取り組みます。
- 「通学区域制度弾力化」について検証作業を行い、制度の在り方を検討し、一定の整理を行います。
- 新しい教育内容や教育方法に適切に対応できるよう、ICT を活用した学習の支援、教材教具や学校図書等の充実を図り、質の高い教育環境の整備を進めます。

## 施策3 家庭・学校・地域の連携強化

- 保護者による主体的な家庭教育を啓発することにより、家庭における教育力の向上を図ります。また、家庭教育に関する学習機会の提供、家庭教育支援団体相互のネットワークの強化等を通じて、家庭教育を支援します。
- 地域コーディネーター<sup>2</sup>を通じて、学校支援ボランティアの活動を充実することにより、地域ぐるみで学校を支える体制づくりを進めるとともに、学校の教育活動だけでなく家庭教育への支援もできる体制づくりを進めます。
- 保護者や地域住民が学校運営に参画する「岡山市地域協働学校（コミュニティ・スクール）」の指定を進め、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たしながら、社会全体で子どもたちを育てるための取組を推進します。また、その取組の効果を高めていくために、家庭・学校・地域による情報交換を促進します。

## 用語解説

1 ICT：P3の脚注参照。

2 地域コーディネーター：学校園と学校支援ボランティアなどの地域の人々とのパイプ役となる人材。支援活動の企画やボランティアとの連絡・調整を行うなど、支援活動の実質的な運営を担う。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合	50.2% (H28)	60%
全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数	30中学校区	35中学校区

## 施策1 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

### ■教職員研修事業 教育委員会

- 教職員の資質能力の向上を目的とした、キャリアステージに応じた系統的・継続的な教職員研修の実施

### ■教職員の力量を高める教育研究事業 教育委員会

- 市の教育課題や学校のニーズに対応する実践的な調査研究の実施
- 教職員への教育情報の提供、調査研究の成果の普及や指導助言等

### ■若手教職員育成事業 教育委員会

- 若手教職員育成に関する OJT<sup>3</sup> の研究及び推進
- 若手教師フォローアップ研修の実施

### ■特色ある岡山市教職員採用試験実施事業 教育委員会

- 岡山市が求める「情熱」「力量」「人間力」のある教職員の確保を目的とした市単独での教職員採用試験の実施

### ■学校業務アシスト事業 教育委員会

- 教職員の事務処理等の業務改善と、児童生徒と向き合う時間の確保を目的とした、小中学校への学校業務アシスト職員の配置

### ■部活動サポート事業 教育委員会

- 部活動の充実発展と部活動顧問教職員の負担軽減を目的とした、中学校及び市立高等学校への外部指導者の派遣

## 施策2 安全・安心で快適な教育環境の整備

### ■ 学校耐震改修整備事業 教育委員会

- 平成 29 年度までの完了に向けた学校施設の耐震化工事の推進

### ■ 校舎等増改築事業 教育委員会

- 将来的に児童生徒数の増加が見込まれる学校の校舎等の増改築の実施

### ■ 学校空調設備整備事業 教育委員会

- 教室内環境改善のための空調設備の早期導入

### ■ 小規模校における ICT を活用した学校づくり事業 教育委員会

- ICT を活用した遠隔合同授業の実施等

### ■ ICT を基盤とする情報活用能力アップ事業 教育委員会

- 教育ネットワークの最適化
- 情報教育カリキュラムの作成等

### ■ 学校図書館の充実 教育委員会

- 各学校の教育内容と子どもの興味関心に合った図書資料の計画的な整備

## 施策3 家庭・学校・地域の連携強化

### ■ 地域協働学校の推進と学校評価の充実 教育委員会

- 保護者や地域住民が学校運営に参画・評価できる「学校運営協議会」の設置促進による地域協働学校指定数の拡充

### ■ 家庭教育支援事業 教育委員会

- 家庭教育に関するリーフレットの配布や啓発イベント等の実施
- 地域や企業等が実施する研修会等への家庭教育支援アドバイザーの派遣

### ■ 地域コーディネーター事業 教育委員会

- 小学校区又は中学校区単位での「地域コーディネーター」の配置促進

### ■ スーパー食育スクール事業における成果の普及事業【再掲】 教育委員会

- 客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進

### 用語解説

- 3 OJT：On the Job Training の略称で、管理監督者などが、日常の業務を通して行う部下育成や実務指導のこと。ここでは、学校内での教職員の育成・指導のことを指す。



政策 16  
生涯学習

# 生涯にわたる 豊かな学びの充実

現状と課題

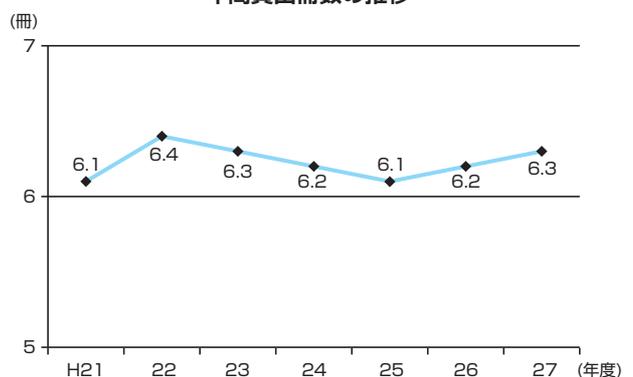
- 心の豊かさや生きがいなどを求めた学習、急速なグローバル化や技術革新による新しい知識・技能の習得など、市民の生涯学習ニーズは増大し、また、多様化・高度化しています。
- 市民の生涯学習や地域活動の拠点となっている公民館では、これまでESD<sup>1</sup>をはじめとする地域づくりの学習や地域の課題解決に向けた人材育成等を行ってきました。今後も、多様な学習の機会や学習情報を提供し、市民一人ひとりが生涯にわたり主体的に学ぶことができる環境の一層の充実を図る必要があります。
- また、地域社会が抱える課題が多様化・複雑化している中で、生涯学習を単に個人の学びにとどめることなく、学習で得られた知識や技能等を地域課題の解決にいかす場を創出するとともに、分野や世代の垣根を越えて互いに交流し、学び合う仕組みづくりを進めていく必要があります。
- 市民の学習に必要な図書や情報を収集・保存・提供する図書館では、これまで子どもから高齢者まで多様な市民ニーズに応えるため、蔵書の充実等に努めるとともに、利用しやすい開館時間、開館日の見直し等のサービスの充実に取り組んできました。今後も、生涯学習の主要な拠点の一つとして、市民の主体的な学習を支援し、利便性を向上させるため、様々な工夫をしながら、図書館サービスを提供していく必要があります。また、劣化が進む古文書等の郷土資料の適切な保存と市民による活用を促進していく必要があります。

公民館主催講座・クラブ講座における  
利用延べ人数の推移



(資料)岡山市担当課調べ

市立図書館の市民1人当たりの  
年間貸出冊数の推移



(注)市立図書館及び公民館図書コーナーの合計貸出冊数

(資料)岡山市担当課調べ

施策 1 豊かな学びの機会と場の提供

- 市民に身近な生涯学習の場であり、地域活動の拠点である公民館では、市民の主体的な参加のもとで地域の特性を踏まえた企画・運営を行うなど、多様化する学習ニーズに対応し、多彩な学習機会の創出や情報の提供に努めます。
- その一環として、公民館が主催する各種の講座では、「健康づくりの支援」や「子育て・青少年健全育成」など、市全体や地域の課題に関連する分野に重点を置いて実施することにより、地域コミュニティの活性化や地域活動の担い手づくりを促進します。
- また、公民館を拠点とした ESD 活動をはじめ、市民協働による様々な活動を推進し、学びの成果を地域課題の解決のために活用する仕組みづくりを進めます。
- 耐震基準を満たしていない公民館施設の安全対策として、計画的な耐震改修を進めます。
- 図書館では、多くの市民が気軽に利用できるよう、市民ニーズの把握に努めながら、図書館の開館日・開館時間の見直しや、市民に身近な公民館との連携など、さらなる工夫による図書館サービスの拡充を図ります。
- 地域の貴重な財産である郷土資料等を適切に保存するとともに、図書館、美術館等が連携しながら当該資料の学術研究、教育、地域づくり活動等への幅広い活用を図ります。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	6.3冊	6.4冊
公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数	815,750人	816,000人

## 施策1 豊かな学びの機会と場の提供

### ■ 公民館運営事業 教育委員会

- 市民の様々な学習ニーズに対応した各種講座の開催

### ■ 公民館建設事業 教育委員会

- 地区公民館の整備

### ■ 公民館耐震改修整備事業 教育委員会

- 耐震診断結果に基づく公民館の耐震改修整備

### ■ 公民館 ESD 活動推進事業 教育委員会

- 公民館における地域 ESD 活動講座、ワークショップ<sup>2</sup>等の開催
- ESD 活動に取り組むアジア地域の CLC（コミュニティ学習センター）との交流の促進

### ■ インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業 教育委員会

- 公民館におけるインターネット予約図書を受取・返却窓口拡充モデル事業の実施・検証及び実施方針の作成

### ■ 図書館相互利用 教育委員会

- 岡山連携中枢都市圏<sup>3</sup>域の市町住民の利便性向上につながる図書館相互利用の実施

### ■ 図書館業務システム活用による市民サービスの向上

#### 及び蔵書の適正管理 教育委員会

- 図書館業務システムの保守点検業務の実施

### ■ 図書館施設の改修及び修繕 教育委員会

- 中央図書館の計画的な修繕の実施

### ■ 郷土資料の保存と活用 教育委員会

- 郷土資料の適切な保存と展示など幅広い活用の推進

## 用語解説

- 2 ワークショップ：特定のテーマを設けて、ファシリテーター（進行役）を中心に、参加者が作業や意見交換をしながら、課題解決の方法を検討したり、学習やトレーニングをしたりする手法。行政では、市民参画の手段として用いられることが多い。
- 3 岡山連携中枢都市圏：P43の脚注参照。

長期構想

前期中期計画

I  
総論

論

II  
分野別計画

III  
區別計画

付属資料



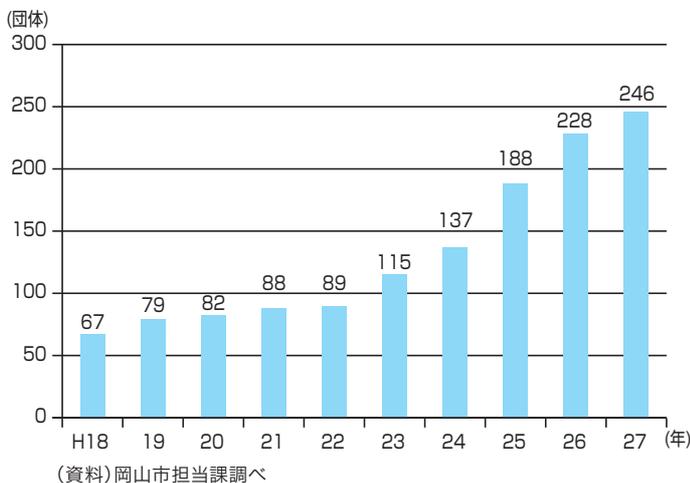
政策 17  
協働、ESD

# 多様な主体による 協働のまちづくり

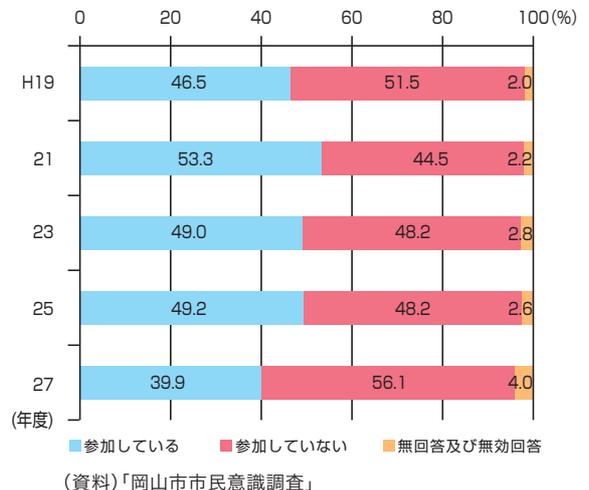
現状と課題

- 持続可能な社会の構築に向けて一人ひとり行動の変革を促す「持続可能な開発のための教育（ESD<sup>1</sup>）」が岡山市でも広がりを見せており、平成 26 年の「ESD に関するユネスコ世界会議」では、公民館を拠点に地域に根ざした学びを推進する岡山独自の「ESD 岡山モデル<sup>2</sup>」が世界から高い評価を得ました。また、平成 28 年には、岡山 ESD プロジェクトが日本で初めて「ユネスコ/日本 ESD 賞」を受賞しました。
- 一方で、活動範囲や推進する人材が特定の地域やテーマにとどまっていることが課題となっており、岡山地域全体に取組を拡大するとともに、人材育成の推進や活動内容のさらなる向上を図る必要があります。
- 岡山市では、安全・安心ネットワーク<sup>3</sup>や町内会等の地縁組織により、活発な地域活動が行われていますが、町内会加入率は減少傾向にあり、構成員の減少や役員の高齢化・固定化など、組織運営上の課題が生じています。持続可能な地域づくりを進めるためには、町内会をはじめとする地域団体の主体的な活動が継続的に行われるよう支援するとともに、多世代の地域住民間での交流・連携を促進する必要があります。
- また、多様化する地域課題に対応するため、行政や地縁組織のほか、企業や大学、NPO<sup>4</sup>等の多様な主体の参画と協働による取組を進めていくことが求められています。
- 広大な市域を有する岡山市では、4つの区それぞれが都市部と周辺部を併せ持ち、区内の各地域は、豊かな自然・歴史・文化等の地域資源を有する一方で、様々な課題を抱えています。平成 22 年度から、区民が主体的に地域づくりの取組を企画・運営・評価する「区づくり推進事業」を実施していますが、今後も各区固有の課題への対応や区の特性をいかしたまちづくりを区民との協働により、進めていくことが求められています。

岡山ESDプロジェクト参加団体数の推移



市民の地域活動への参加割合の推移



## 施策の方向性

## 施策1 ESD 活動の拡大と質の向上

- 岡山市と市内に立地する大学、NPO 等で構成する「岡山 ESD 推進協議会」が策定した「岡山 ESD プロジェクト 2015 - 2019 基本構想」に基づき、ESD の認知度向上と理解を深めるための啓発活動に取り組むとともに、プロジェクト参加団体の活動への支援等を通じて、ESD 活動の広がりを促進します。また、交流の機会を通じて学び合うなど、国内外の ESD 関連組織との連携を進め、世界の ESD 活動の推進に貢献します。
- ESD の視点から、地域の課題を抽出し、課題解決のための取組を企画するなど、ESD 活動を中心的に推進できる人材を育成し、活動の質の向上に努めます。

## 施策2 地域における主体的な活動の促進

- 安全・安心ネットワークやコミュニティ協議会<sup>5</sup>等の活動をはじめ、地域における課題解決につながる取組を支援することにより、地域住民の交流促進や地域の主体的な活動の活性化を図ります。
- 持続可能な地域活動が行えるよう、公民館職員と地域担当職員<sup>6</sup>のコーディネート能力の強化を図るとともに、若者が地域への関心を高め、地域活動の担い手となるための取組を進めます。
- 電子町内会システム<sup>7</sup>の利便性を高め、地域におけるコミュニケーションの手段としての活用を進め、多世代の地域活動への参加を促進します。

## 施策3 多様な主体による協働の推進

- 「協働のまちづくり条例」に基づいた取組を計画的に推進するとともに、市政全般において協働の観点からの施策立案に努めます。
- NPO 等の市民活動団体が、協働のパートナーとして安定的に活動できるよう、活動基盤の強化に向けた支援を行うとともに、関係機関と連携して地域活動の担い手づくりを進めます。
- 市民と行政の協働による社会課題解決のモデルとなる事業を実施します。また、協働による実践事例等の情報発信や、多様な主体がつながり相互理解を深める場の提供等を行います。
- ESD・市民協働推進センター<sup>8</sup>のコーディネート機能を強化し、多様な主体をつなぎ、協働を推進します。
- 知の集積である大学や事業活動を通じてまちづくりに貢献している経済界との連携により、様々な地域課題の解決に向けた検討・研究等を進めます。

## 施策4 特色ある区づくりの推進

- 各区の特徴的な課題に対応し、区の特性をいかしたまちづくりを推進するため、区民と行政が、区づくりの目標や課題を共有し、協働しながら、魅力と活力があり安心・快適に住み続けることができる区づくりを進めます。

## 用語解説

- 1 ESD：P7の脚注参照。
- 2 ESD 岡山モデル：P7の脚注参照。
- 3 安全・安心ネットワーク：P83の脚注参照。
- 4 NPO：P5の脚注参照。
- 5 コミュニティ協議会：小学校区・地区を単位として岡山市が設置しているコミュニティハウスの管理運営を目的に、小学校区・地区内の各種団体で構成される組織。
- 6 地域担当職員：安全・安心ネットワーク活動をはじめとする地域活動を支援するため、各地域団体間の連携や関係機関との連絡調整を担う職員。各公民館に1名配属している。
- 7 電子町内会システム：インターネットを活用して、町内会活動をはじめとする地域の情報発信や、町内会員相互の情報交換を行い、地域コミュニティの活性化を図るための情報システム。
- 8 ESD・市民協働推進センター：多様な主体をつなぎ協働を生み出していくとともに、市民活動の中に ESD の浸透をはかるために設置された岡山市の協働推進のコーディネート機関。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
ESDプロジェクト参加団体数	246団体	300団体 (H31)
地域活動への参加割合	39.9%	52% (H31)
企業・NPO 法人等が参加した安全・安心ネットワーク数	23団体	50団体

## 施策1 ESD活動の拡大と質の向上

### ■岡山 ESD プロジェクト推進事業 市民協働局

- 各種フォーラム<sup>9</sup>の開催、ESD コーディネーターの育成、学生を対象とした ESD に関するインターンシップ<sup>10</sup>等のプログラムの提供、優良事例の顕彰等を実施する岡山 ESD 推進協議会の経費への助成、ESD 活動等の情報発信等

### ■公民館 ESD 活動推進事業【再掲】 教育委員会

- 公民館における地域 ESD 活動講座、ワークショップ<sup>11</sup>等の開催
- ESD 活動に取り組むアジア地域の CLC（コミュニティ学習センター）との交流の促進

### ■ユネスコスクール推進事業【再掲】 教育委員会

- 国内外のユネスコスクール<sup>12</sup>や各地域のコンソーシアム<sup>13</sup>との交流及び学校間ネットワークの充実
- 地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わる ESD 活動の推進
- ESD 実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催

## 施策2 地域における主体的な活動の促進

### ■安全・安心ネットワーク支援事業 市民協働局

- 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成
- 各公民館への地域担当職員の配置
- 公民館等での地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催

### ■電子町内会推進事業 市民協働局

- 電子町内会システムの講習会や意見交換会、パネル展等による普及啓発
- スマートフォンやタブレット端末からの閲覧・更新が可能なシステムの再構築

### ■住民自治組織育成事業 市民協働局

- 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成

### ■区づくり推進事業 市民協働局 各区役所

- 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成

### ■コミュニティ推進事業 市民協働局

- 地域の交流の場となるコミュニティハウスの適正な維持管理

### 施策3 多様な主体による協働の推進

#### ■ ESD・市民協働推進センター運営事業 市民協働局

- ・市民協働事業の事業化支援
- ・市民活動のリーダー養成講座や研修会の開催

#### ■ 市民協働推進モデル事業 市民協働局

- ・岡山市の社会課題を市民と行政の協働で解決するモデル事業への経費の一部助成
- ・市民と行政双方から課題を提案し解決方法を検討するワークショップの開催

#### ■ 市民協働推進専用ウェブサイトの運営 市民協働局

- ・NPO、ボランティア、市民協働等に関する市民と行政両方の情報の発信

#### ■ 協働のまちづくり条例普及・啓発事業 市民協働局

- ・多様な主体の協働による社会課題解決の取組を促進するためのフォーラムの開催や優れた取組の表彰
- ・協働のまちづくり条例普及のための啓発パンフレットの作成等

#### ■ 大学等との連携 政策局

- ・「おokayama地域発展協議体」をプラットフォームとした市内大学や経済界との各政策分野での連携の推進
- ・大学の知識や技術、経済界の資源・知見をいかした、地域が抱える種々の課題の解決に資する検討・研究

### 施策4 特色ある区づくりの推進

#### ■ 区別計画の推進 政策局 各区役所 各局室

- ・区別計画に記載した施策の実施

#### 用語解説

- 9 フォーラム：「フォーラムディスカッション」の略で、公開討論会のこと。  
 10 インターンシップ：P83の脚注参照。  
 11 ワークショップ：P95の脚注参照。  
 12 ユネスコスクール：P87の脚注参照。  
 13 コンソーシアム：P87の脚注参照。



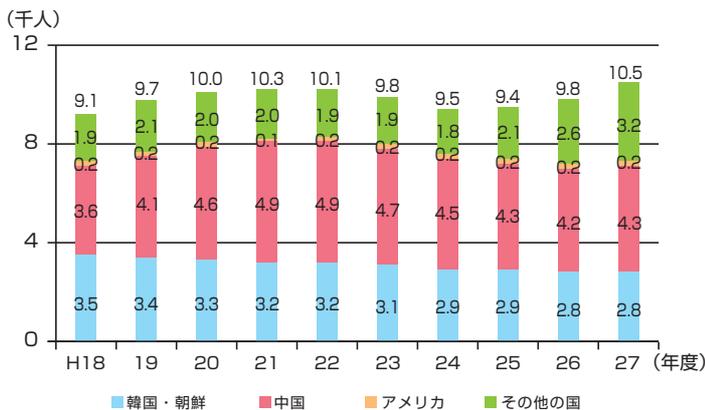
政策 18  
国際

# 国際的に開かれた 多文化共生のまちづくり

現状と課題

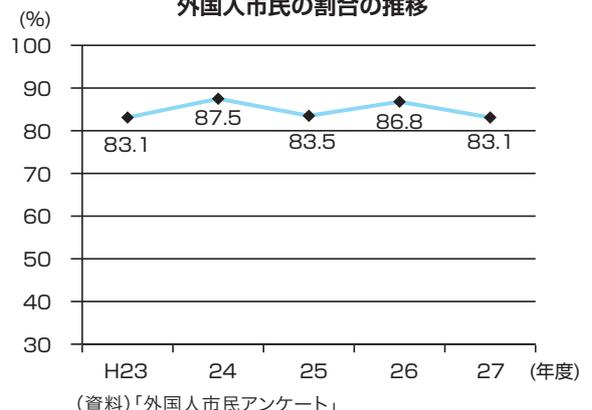
- グローバル化や高度情報化の進展、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、海外の人や都市と交流する機会がますます増加することが予想されています。また、岡山市の外国人人口は、総人口の約1.5%に当たる約1万人（平成27年）であり、近年増加傾向となっています。
- 岡山市では8つの国際友好交流都市・地域を中心に、都市ごとに重点分野を絞りながら交流を進めてきましたが、国際交流の機運が高まる中で、産業・文化・スポーツなど幅広い分野での交流を推進し、友好親善を深めるとともに、岡山市の魅力を積極的に海外に発信することにより、都市イメージのさらなる向上を図ることが求められています。
- 市民が異なる文化を身近に感じ、国際感覚を醸成できるよう、国際交流の裾野を広げるとともに、子どもたちの英語力向上のための取組の実施や外国の文化等についての理解を深める機会の提供等により、グローバルに活躍できる人材を育成していくことが求められています。
- 外国人市民アンケートによると、岡山市に住み続けたい外国人市民の割合は、近年80%台で推移しています。国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員としてともに生きていけるよう、コミュニケーションや生活支援の充実、地域活動への参加の促進等を通じて、誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進める必要があります。

外国人人口の推移



(資料)H23 までは外国人登録者数、H24 以降は住民基本台帳人口(外国人)

岡山市に「住み続けたい」「できれば住み続けたい」外国人市民の割合の推移



(資料)「外国人市民アンケート」

## 施策の方向性

## 施策1 国際交流の促進とグローバル人材の育成

- 市民、関係団体、行政が一体となった国際交流事業を幅広く実施します。また、民間事業者が実施する国際交流活動を支援するため、活動に役立つ情報を積極的に提供します。
- 国際友好交流都市等への中学生の派遣や海外の子どもたちのホームステイなど、相互に異文化に触れる体験を通じて、多様な文化への理解を深め、継続的な国際交流につながる取組を推進します。
- 小中学校では、海外の学校との交流やESD<sup>1</sup>活動を通じて国際理解教育を進めるとともに、ALT（外国語指導助手）を効果的に配置・活用し、子どもたちの英語力の向上や国際感覚の醸成を図ります。

## 施策2 多文化共生の環境づくり

- 国籍、民族等の異なる人々が、地域の生活に溶け込み、地域社会の構成員としてともに生きることができるよう、行政情報の多言語化のほか、わかりやすい日本語や絵図等を活用した情報伝達方法の工夫に取り組みます。また、外国人市民の子どもが安心して学校で学べるよう、きめ細かな対応を行います。
- 外国人市民の地域社会への参加を促進するため、町内会やPTA、公民館等で行う活動について、積極的に情報提供するとともに、外国人市民会議の開催等により、外国人市民の意見を様々な施策に取り入れる機会を設けます。
- 未来を担う子どもたちに成長段階に応じて多様な文化に触れる機会を提供するなど、国際理解を深めるための取組を行います。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
国際交流・国際化について満足している市民の割合	11.1%	13% (H31)
岡山市に住みたい外国人市民の割合	83.1%	88%

## 施策1 国際交流の促進とグローバル人材の育成

### ■国際交流推進事業 市民協働局

- 市民や民間事業者の積極的な参加による、国際友好交流都市・地域を中心とした海外の都市との、教育、文化、防災、医療、経済等の重点分野を絞った国際交流活動の実施

### ■子どもたちに重点を置いた国際理解の促進事業 市民協働局

- 国際友好交流都市の子どもたちのホームステイや海外子ども派遣事業の実施

### ■英語教育推進事業【再掲】 教育委員会

- 教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援
- 英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進
- 小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置
- 英語力向上のための検定試験を活用したモデル事業の実施

### ■次世代育成体験活動促進事業

#### （おかやまイングリッシュビレッジ事業）【一部再掲】 岡山っ子育成局

- 外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供

### ■ユネスコスクール推進事業【再掲】 教育委員会

- 国内外のユネスコスクール<sup>2</sup>や各地域のコンソーシアム<sup>3</sup>との交流及び学校間ネットワークの充実
- 地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進
- ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催

## 施策2 多文化共生の環境づくり

### ■多文化共生のまちづくりの推進事業 市民協働局

- 行政情報の多言語化及びホームページでの情報発信
- 外国人市民会議の開催及び提言書の取りまとめ
- 地域、学校、NPO<sup>4</sup>等との協働による外国人市民との交流会の開催や、就学前の子どもたちに対する外国語での絵本の読み聞かせ等の実施

### ■日本語指導講師派遣事業【再掲】 教育委員会

- 日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施

### 用語解説

- ユネスコスクール：P87の脚注参照。
- コンソーシアム：P87の脚注参照。
- NPO：P5の脚注参照。

長期構想

前期中期計画

I 総論

II 分野別計画

III 区別計画

付属資料



政策 19

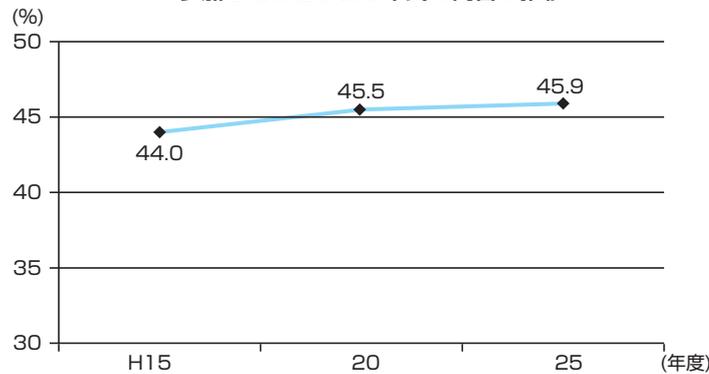
人権

## 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり

### 現状と課題

- 人権問題に関する市民意識調査をみると、約 5 人に 1 人が人権侵害を受けたと感じており、依然として、女性、子ども、高齢者、障害のある人、同和問題、外国人への差別や偏見等の様々な人権問題が存在しています。また、近年では、LGBT<sup>1</sup> など、性的マイノリティへの差別や偏見をはじめ、パソコン、携帯電話、スマートフォン等の普及に伴い増加しているインターネット上のいじめなどの問題が顕在化しています。
- このような中、誰もが個人として等しく尊重され、個性と能力を発揮することができる社会を実現するためには、市民一人ひとりが人権問題に関心を持ち、自らの問題として人権尊重についての理解と認識を深め、主体的に行動することが重要です。
- 岡山市では、昭和 60 年に「平和都市宣言」を行い、恒久平和の理念のもと、平和の尊さを次代へ語り継ぐ取組を進めていますが、戦後 70 余年を経過し、戦争・戦災を体験した市民やその伝聞について記憶する市民の減少に伴い、体験の継承が困難となっています。
- 「岡山市平和都市宣言」及び「岡山市平和の日宣言」の理念を実現するため、戦争・戦災の体験や平和への思いを次世代に確実に伝えるとともに、平和の尊さを学ぶ機会の充実を図り、平和を大切に思う心を醸成することが求められています。

人権問題に関する講演会・研修会などに  
参加したことがある市民の割合の推移



(資料)「人権問題に関する市民意識調査」

## 施策の方向性

## 施策1 人権意識の高揚

- 国をはじめとする関係機関と連携し、学校教育における人権教育及び市民や事業者等への啓発活動を継続的に推進するとともに、様々な人権課題について学習することができる機会を提供し、人権意識の高揚を図ります。
- 人権意識の高揚を目的とした団体が創意工夫をこらして行う人権啓発活動を支援するなど、人権課題の解決に向けて、市民との協働の取組を進めます。
- 社会全体で人権を尊重し合う意識の高揚を図り、一人ひとりの主体的な行動に結びつけられるよう、学校や事業者が実施する人権研修への講師派遣等の取組を進めます。

## 施策2 平和を大切にする意識の醸成

- 「岡山市平和都市宣言」及び「岡山市平和の日宣言」の理念に基づき、平和祈念事業の実施や戦争・戦災資料の紹介・活用等により、次代を担う人々が、戦争の記憶を継承し平和の尊さを学ぶ機会を充実させ、平和を大切にする意識を醸成します。
- 戦没者遺族会、戦災死者遺族会、原爆被爆者会の活動を支援するとともに、岡山空襲展示室等において市民から寄せられた資料を中心とする戦争・戦災資料の適切な保存・管理を行います。

## 用語解説

1 LGBT：女性同性愛者（Lesbian）、男性同性愛者（Gay）、両性愛者（Bisexual）、性同一性障害を含む体と心の性が一致しないで性別に違和を感じる人々（Transgender）の頭文字をとった総称。

指標名	基準値 H27	目標値 H32
人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合	45.9% (H25)	47% (H30)

## 施策1 人権意識の高揚

### ■人権フェスティバル岡山 市民協働局

- ・人権フェスティバル岡山の開催

### ■人権啓発推進事業 市民協働局

- ・憲法週間における啓発イベント、各区等を単位とした講演会、映画会等の実施、企業等の人権研修への講師派遣

### ■人権啓発活動補助金 市民協働局

- ・人権活動団体が行う啓発事業に対する経費の一部助成

### ■人権教育推進事業 教育委員会

- ・人権教育に関わる教職員の研修や授業の支援

## 施策2 平和を大切にする意識の醸成

### ■岡山市戦没者追悼式 保健福祉局

- ・戦死者並びに戦災死者の顕彰と哀悼の意を表すための、岡山市主催による無宗教献花方式の戦没者追悼式の挙行

### ■岡山空襲展示室事業 保健福祉局

- ・戦災資料等の散逸を防ぎ、次世代に平和の尊さを伝えることを目的とした、「岡山空襲展示室」を活用した情報発信

長期構想

前期中期計画

I 総論

II 分野別計画

III 区別計画

付属資料